

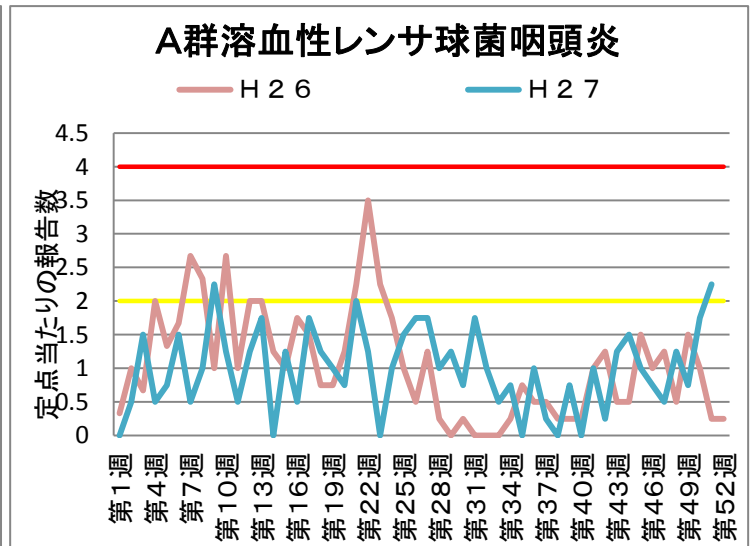
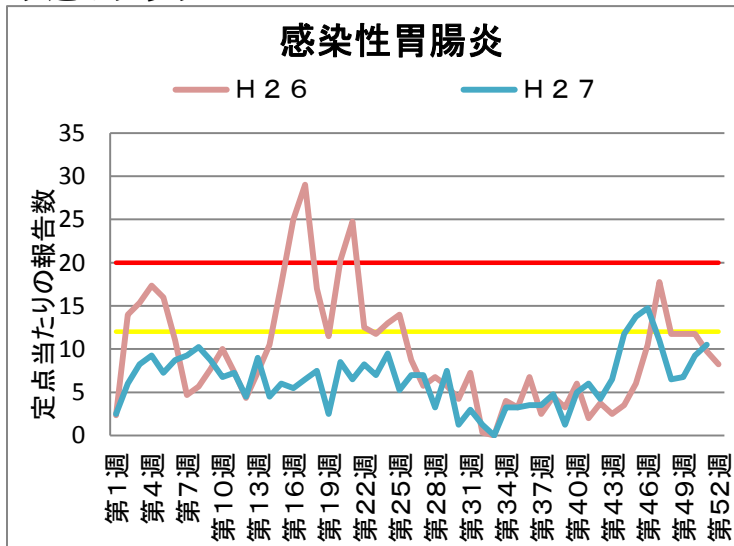
# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 51 週 平成27年12月14日 ～ 平成27年12月20日

## 今週のコメント

○ 先週に引き続き、感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎がやや増加しています。  
○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は全国的にも増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多くなっています。突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感によって発症する小児に多い感染症です。かゆみを伴う赤い発疹が全身の皮膚にあらわれることもあります。治療には、抗生物質が有効です。腎炎などの合併症を防ぐため、症状が改善しても主治医に指示された期間、抗生物質をのむことが大切です。予防には、手洗い、うがい、咳エチケットを心がけましょう。

## 今週のグラフ



\* — 流行警報基準値です — 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	-
RSウイルス感染症	0.5	伝染性紅斑	0.5
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.25	百日咳	-
感染性胃腸炎	10.5	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.75	流行性耳下腺炎	0.5

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

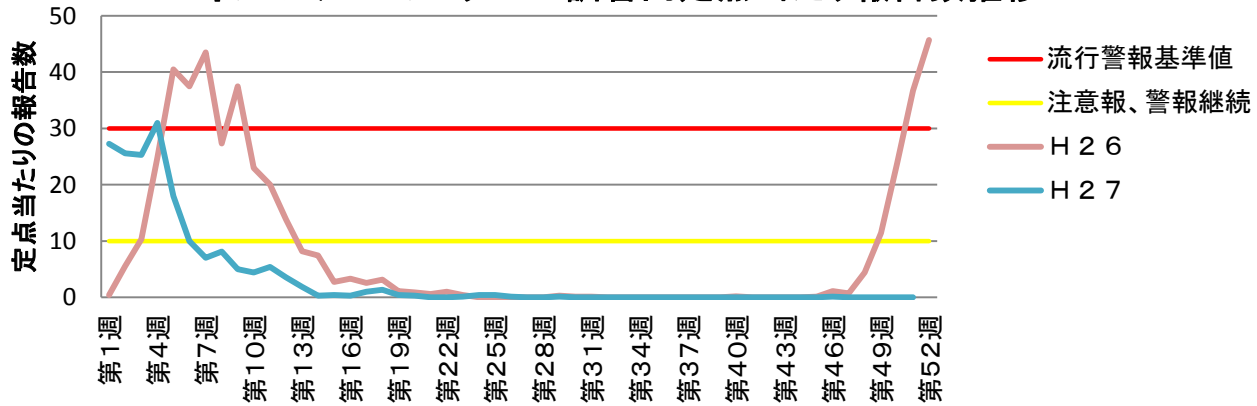
報告週対応表  
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

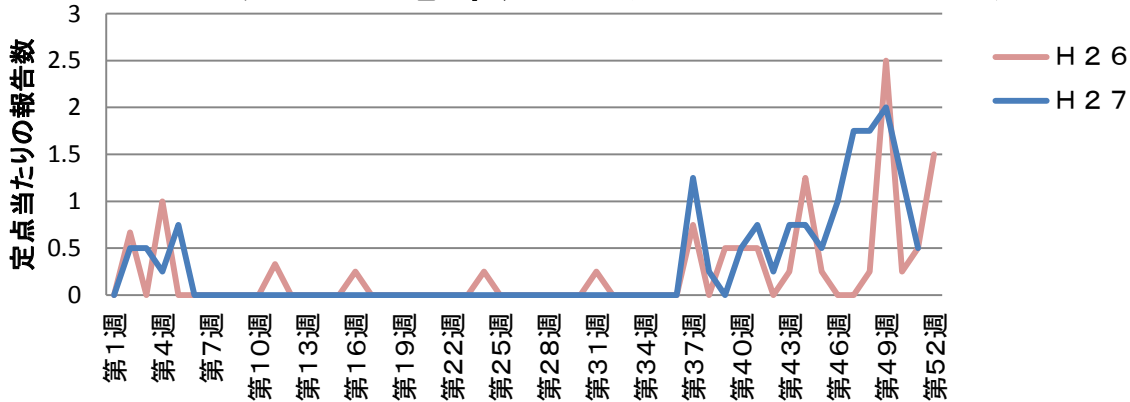
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

## 定点報告による各疾病の推移

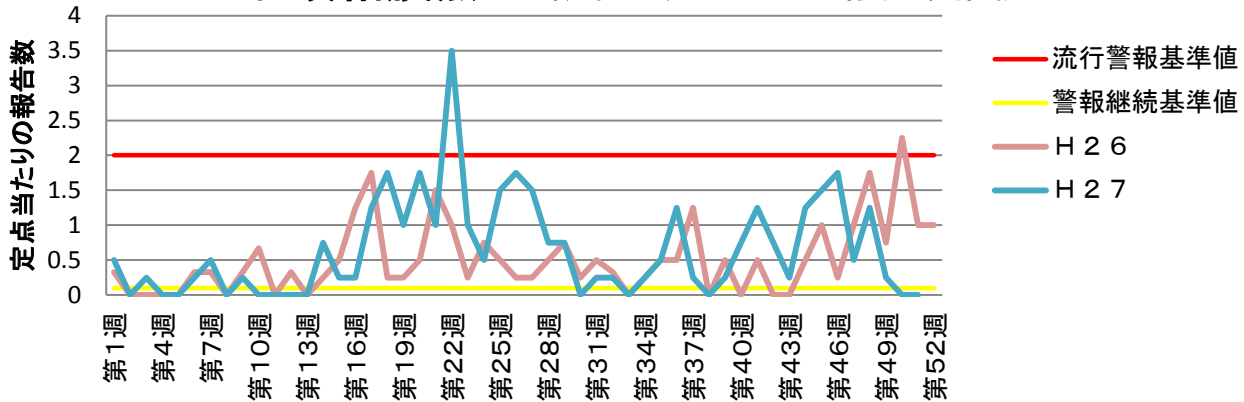
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



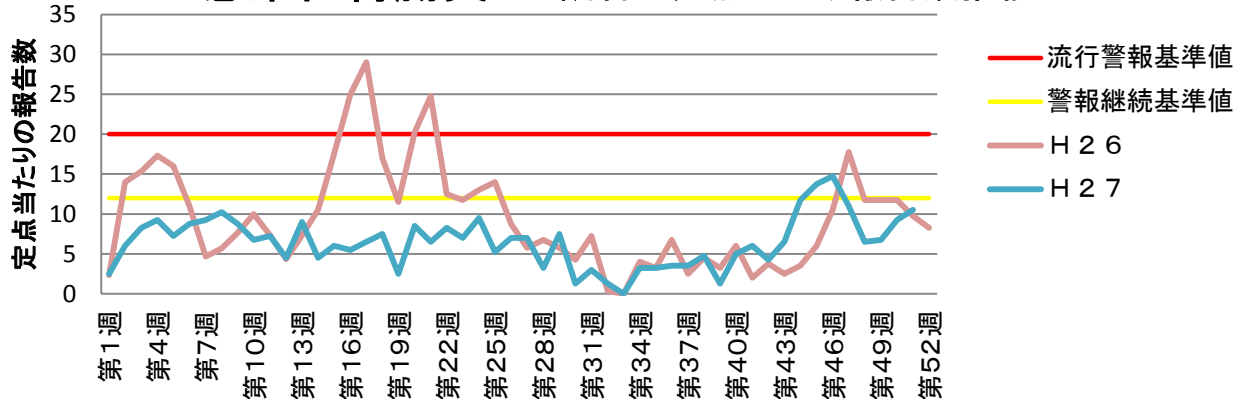
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



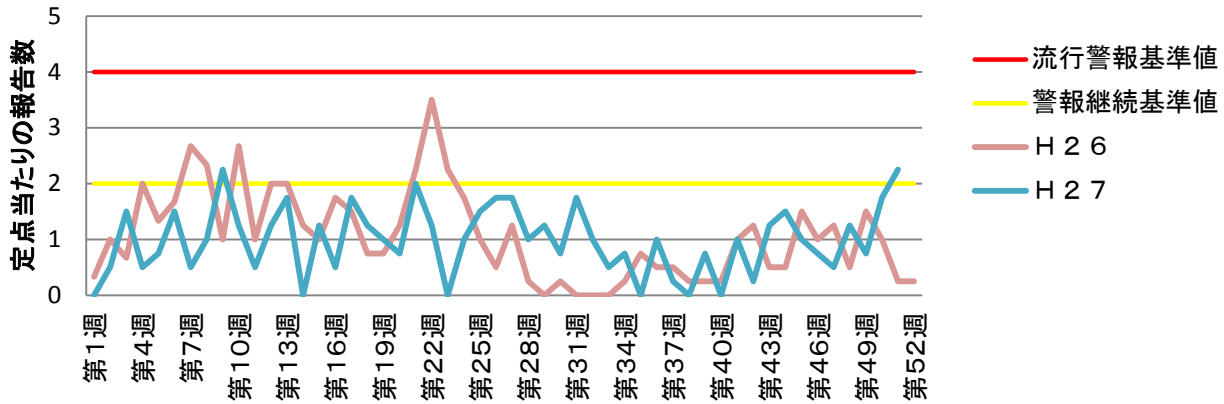
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



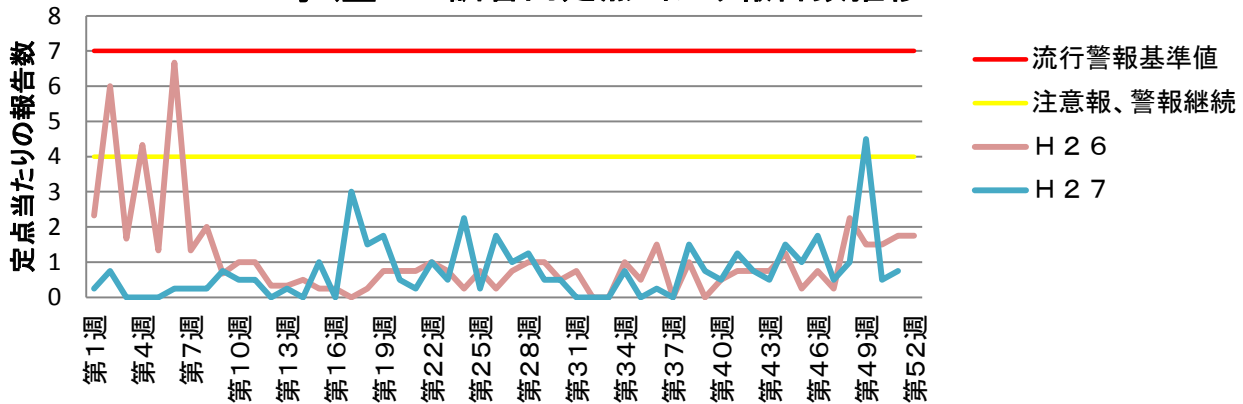
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



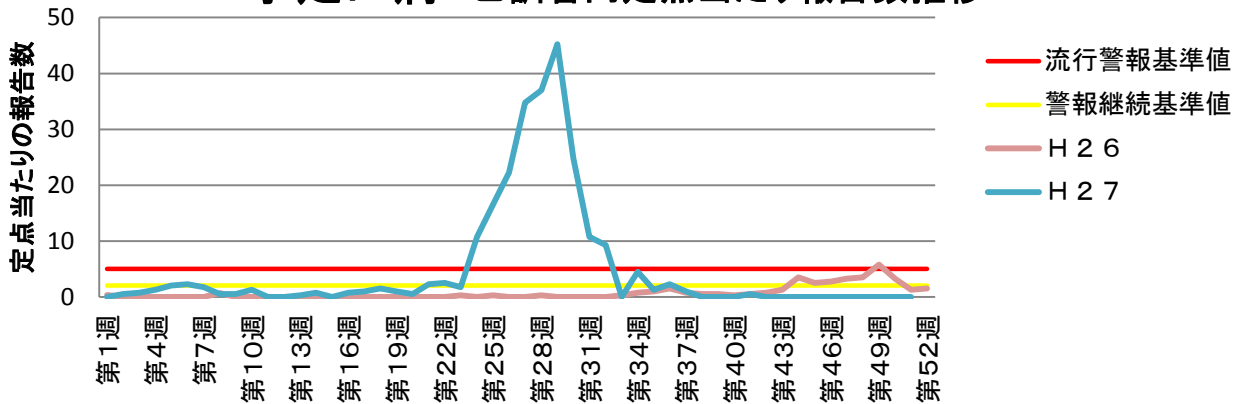
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



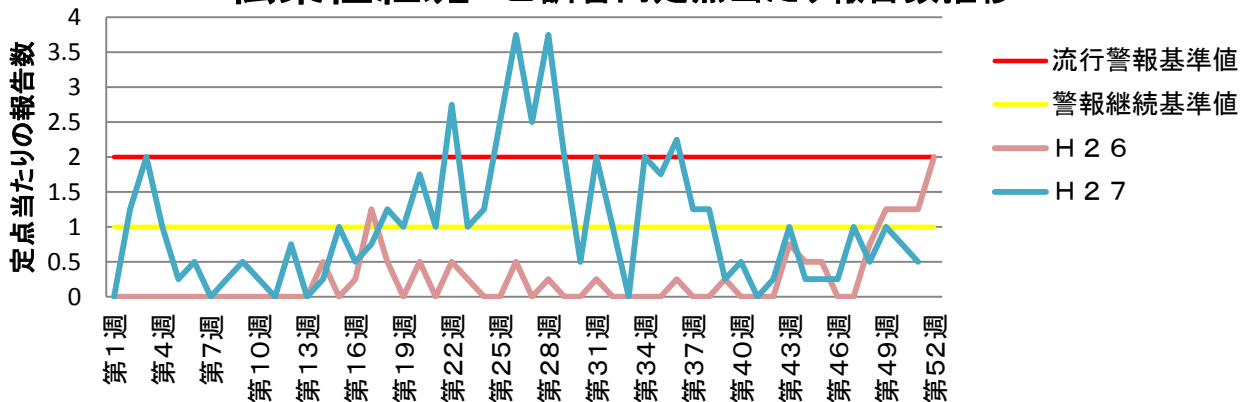
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



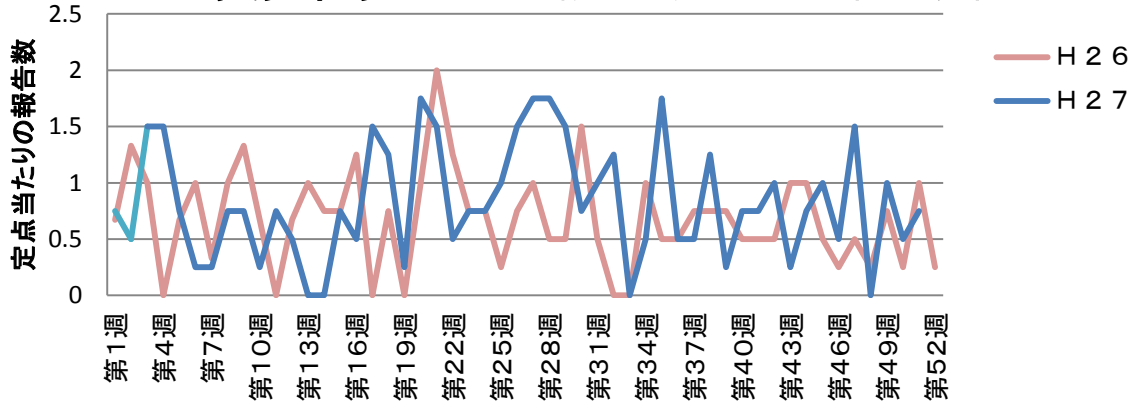
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



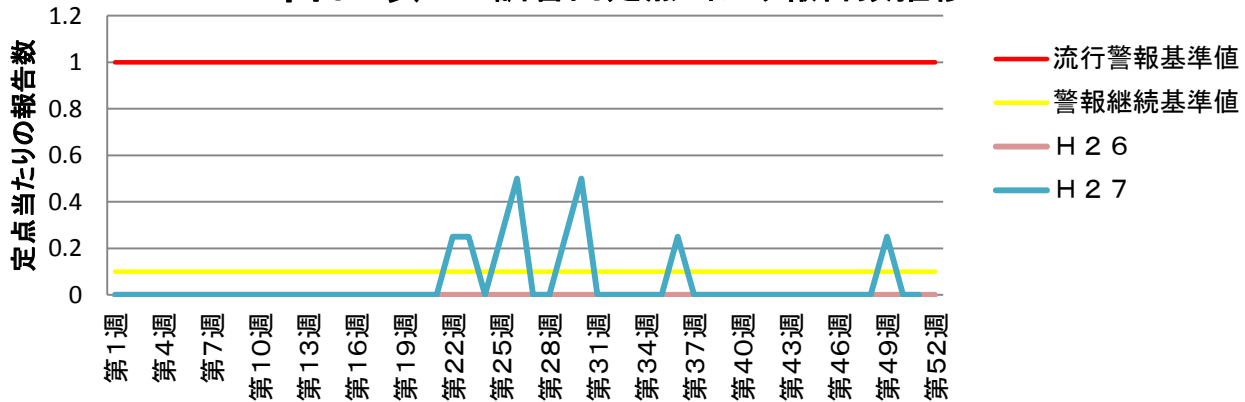
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



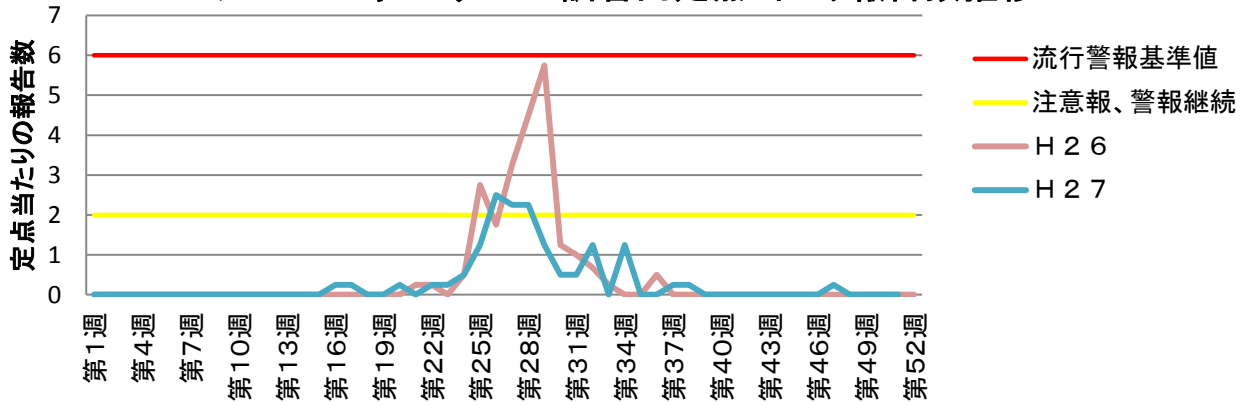
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

